DO NOT COPY. DO NOT DISCLOSE TO THE THIRD PARTY

Rev.Rea.

Rev.No.

DESCRIPTION

DATE

APPROVED

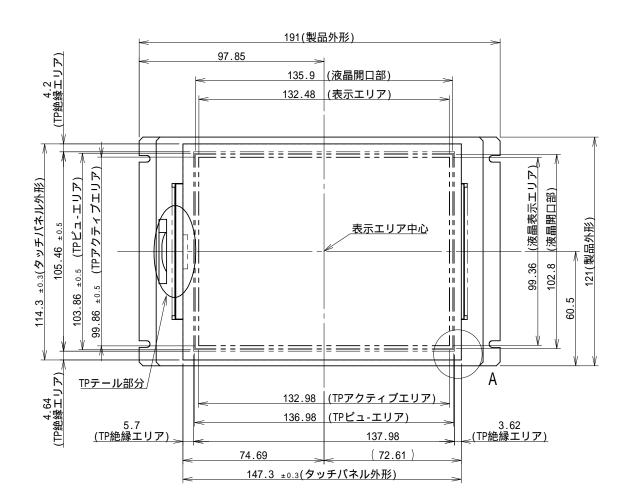
DRAWN

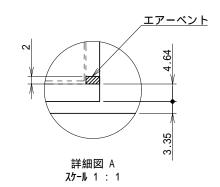
C.設計不良 材料都合 H.J

Rev.Reasc 訂正理由

本図面はS/N 05001以降の製品が対象

S/N 05001未満の製品についてはC10631A-X112 をご参照下さい。





υ	JISB0405							
	公差等級	f	m	С	v	組立公司		
	寸法の区分	精級	中級	粗級	極粗級			
	0 . 5以上 3以下	0.05	0.1	0.2	-	-		
	3 を こ え 6 以下	0.05	0.1	0.3	0.5	1		
	6をこえ30以下	0.1	0.2	0.5	1	1		
	30をこえ120以下	0.15	0.3	0.8	1.5	2		
	120をこえ400以下	0.2	0.5	1.2	2.5	3		
	400をこえ1000以下	0.3	0.8	2	4	4		
	1000をこえ2000以下	0.5	1.2	3	6	6		
	2000をこえ4000以下	-	2	4	8	8		

A3 297 x 420

A3_IHDW_SW

絶縁エリア <u>TPビューエリア</u> <u>フロントベゼル</u> __2.0mm以上 」1.0mm以上 TPアクティブエリア 0.5mm以上 2.0mm ITOフィルム 入力禁止エリア 糊材 緩衝材(クッション) ITOガラス ドットスペーサー 糊材 ディスプレイ

推奨取り付け構造例

取り付け上の注意事項

フロントベゼルの先端は、TPアクティブエリアとTPビューエリアの間(L1a)に入る様に設計 されることを推奨します。TPアクティブエリア内に入るとフロントベゼルが押された際に先端が タッチパネルを押し、誤入力の原因になります。

フロントベゼルに手を乗せたりした状態で、フロントベゼルのひずみなどがタッチパネルを 誤入力しない様にフロントベゼル内側とタッチパネル上部電極との間には0.5mm以上の隙間を 設ける様にしてください。

TPアクティブエリアとTPビューエリア(L1a)は荷重をかけた場合、予期せぬ入力を引き起こす 可能性があります。この部分に直接触れない様にして下さい。

絶縁エリア端面を基準にTPビューエリアよりに2.0mm以内のエリア(入力禁止エリア)は、 構造上耐久性が弱くなっています。特にペン入力時にこのエリアが押されるとフィルムが 伸び、破損の恐れがあるため直接触れない様にして下さい。

またTPアクティブエリアとTPビューエリアの間(L1a)が2.0mm以上の位置になるように設計する ことを推奨します。

フロントベゼル内側とタッチパネル上部電極との間に緩衝材を設ける場合は、ある程度の 余裕を持たせて温度変化によるフロントベゼルと上部電極の伸縮差を吸収できるようにして

緩衝材が強く押さえ付けられていると伸縮を吸収しきれずタッチパネル上部電極の歪み、たわみ を引き起こす事があり、外観、機能両方に影響を及ぼすことがあります。

また緩衝材は必ず絶縁エリア端面に対して1.0mm以上外側へ取り付けて下さい。

タッチパネルの中には内圧と外圧を均一にするためエアーベントを設けています。

取り付け時にこのエアーベントを塞がないようにして下さい。

特に緩衝材を使用する際は十分に注意して下さい。

また水分がエアーベントの近くに貯まると内部へ浸透する恐れがありますので、水分が 貯まらない様に注意して下さい。

また装置内部からの圧力でタッチパネル上部フィルムが盛り上がる様な状態は避けて下さい。 タッチパネル表面に緩衝材を貼り付けないで下さい。

必ずフロントベゼル側へ貼り付けて下さい。

タッチパネル表面に緩衝材を貼りつけた場合、上部電極と下部電極の接着部にストレスが かかり破損しやすくなります。

タッチパネルのテール部分には過度のストレスが掛からない構造にして下さい。 絶縁不良や回路断線の危険性があります。

APPROVED	CHECKED	DRAWN	TITLE 液	晶詳細図	MATERIL		DATE 2020/10/28	
藤本	柳原	河相	TYPE GOF	P-5065SVTAA	FINISH		SCALE 1:2	
							Total 配布先	